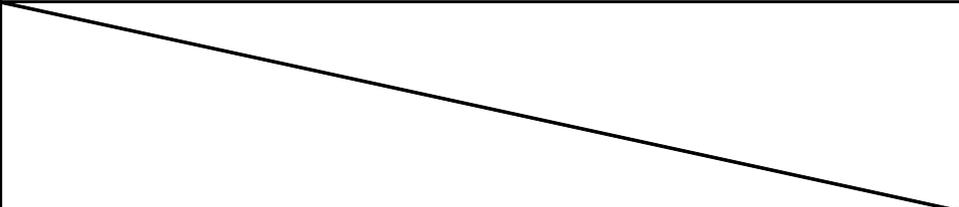


## 市長と語る会(H30. 6. 21市民活動センタープラッツ)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	市長は府中生まれ、府中育ちということで、ずっと府中で生活していたと思うが、外国の方におすすりできるような府中の魅力は何でしょうか。	府中の歴史だと思う。これは本当に宝物だと思う。オーストラリアの野球チームが来たときに、府中は何年の歴史があるのかと聞かれたが、約1400年と言ったらすごく驚いて、我々には200年ぐらいしか想像がつかないと言われた。東京で一番古いということはPRするキャッチコピーとしては、一つの大きなタイトルだと思う。
2	府中の歴史の魅力というのを外国の方に伝える手段として、何かよい方法あるのか市長の考えをお聞かせください。	まずは来ていただいて、けやき並木を見ていただけたら、あの緑とまちの調和を外国の方も気に入っていただけるのではないかなと思う。外国では教会などが聖地なのではすが、けやき並木の奥には荘厳な大國魂神社があり、日本人の歴史を語る上では、ある意味で聖地としての雰囲気があると思うので、まずはそこに来てもらいたい。
3	府中が歴史のあるまちというのは授業などで聞いて知識として知ってはいるが、まちを歩いていてもあまり感じられない。市として府中の歴史を知ってもらうためにどのような発信をしているのか。	今の質問で気付かされたところがあるが、我々は府中が歴史があるまちだということ、観光スポットになるような歴史を物語る様々なものが残っているのを知っているが、府中に他の場所から来た方には、どこに歴史的価値がある史跡等があるかわからないとは、そのとおりかもしれない。ガイドブックやウォーキングマップ、様々な資料を用意し、ホームページでも掲載をしてPRしているつもりだが、都市化の流れから、古い歴史があるというイメージが弱くなっていると思う。
4	今回の懇談会のテーマでもありますが、オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップなどで、学生や若者に求めていることは何でしょうか。	外国の方をお迎えするためのおもてなしや試合を見に来る方々にまちの中を回遊していただくため、市民との交流には、どうしてもマンパワーが必要になる。府中にボランティア登録をした方に手伝っていただいたり、通訳のボランティアを募集したり、若い方々が積極的にかかわることを期待している。

## 市長と語る会(H30. 6. 21市民活動センタープラッツ)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
5	<p>地域で活動する若者を増やしたいという目的で、きみまちプロジェクトを行っているが、若者が地域で活躍できる場所がない。活動したいと思う人はいても、それができないという現状があって、それをどうにかしたいと感じている。府中市の課題とその解決策をみんなで考えている。</p>	<p>まちを知る、まちにかかわることで自分が育つ。それでネットワークが広がっていく。こういう活動はすごいチャンスだと思う。</p>
6	<p>府中は多くの観光資源があるのに、なぜもうちょっと広められないのかと思う。大学を受験するときに府中に泊まったが、ホテルでもらったお散歩マップに、神社やお店の案内があったが、あまり詳しい説明や情報が載っていなかった。外国人は居酒屋が好きというイメージがあるが、お店の情報が載っていたり、写真撮影のスポットやちゅうバスの情報など、様々な情報が載った多言語対応のマップを宿泊先のホテルで渡したら、府中を散歩してくれる外国人が増えるのではないかと思う。</p>	<p>経済観光課で多言語対応の地図をつくっているが、その活用について良いご提案をいただいた。</p>
7	<p>地域活動は義務的にやるのではなくて、何か楽しいきっかけがあれば、生き生きと参加してくれる。楽しみながら結果的に、まちもきれいになったり、活気づいたりということがいい。</p>	
8	<p>都内では酒蔵は両手で数えられる程度しかないが、府中には酒蔵がある。大国魂神社に松尾様というお酒の神様が祀られており、お酒に関しても歴史あるまちだと思っている。お酒を通じて府中のことをわかっていた方法もあるのではないかと思う。</p>	<p>市内には地酒としては野口酒造があり、ビールではサントリービール工場がある。大国魂神社境内にも松尾神社というお酒の神社が本殿に向かって左奥に行ったところにある。ご意見は良い視点だと思う。</p>

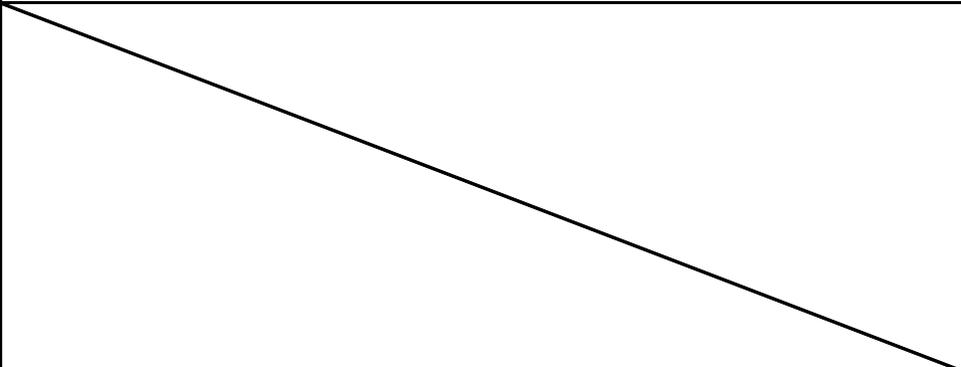
## 市長と語る会(H30. 6. 21市民活動センタープラッツ)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
9	子どもたちがオリンピックがあったというのをオリンピックの後も思い起こせるように、小学校や幼稚園の子どもたちにもアピールできたら、これからの府中の発展にもいろいろつながると思う。	オーストリアのホストタウンになったので、3月の給食でオーストリア料理を出して子どもたちに食べてもらった。子どもたちに記憶に残るようなことをしてあげたいと強く思っている。また、車椅子バスケットボールの国際大会が武蔵野の森総合スポーツプラザであり、日本とドイツの試合に市内の小学生500人が招待され盛り上がったと聞いた。これからも心に残る様々なことを考えていきたい。
10	来年のラグビーワールドカップに向けて、フランスウィークやイングランドウィークなど外国を知ってもらおうという企画は良いと思う。府中で機会を増やしていきたいと思っている。 大人から子どもまでを対象とした府中を案内できる人を養成するような講座を大学とプラッツと市とで協働して実施できたらいい。	前回の市長と語る会では国際交流サロンに通って日本語を学んでいる人たちにお話を伺ったが、観光地へ行くとインフォメーションセンターが必ずあるのに府中にはない、観光情報センターは観光情報のみで不便であるとの指摘を受けた。提案のようなプログラムがつくれて、マニュアルもつくっておけば、訪問される方も安心してスムーズに府中を巡っていただけたらと思う。
11	世界42カ国を旅してきたが、ホテルの人と話したとか、相手に受け入れられたなどの体験が、やはり一番思い出に残ると思う。ハード面も大事だが、ソフトの部分で一つのかかわりがちょっとほかと違うなと思うと好感を持ってくれると思う。	有名などころを見て回るという旅の仕方もあるけれども、やはり観光ルートとはちょっと違う、中へ入って人と触れ合うことができると、それが素晴らしい記憶になるというのは私も経験したことがある。海外の方が私の家に泊まったときに、畳の上に布団を敷いて何気ない布団の上げ下げをただけで、母国に帰ったときに日本が好きだ、日本に行って一番好きなのは府中だと話してくれたそうだ。

## 市長と語る会(H30. 6. 21市民活動センタープラッツ)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
12	<p>外国の方が病院に行くときに通訳したことがあったが、観光以外の面でも多言語対応など広い視野を持っていただけたらいいのではないかと思います。日本語がわからないために、行政からの重要な通知を見落とす外国の方がいるのを知っているの、英語の併記などがあるといいと思う。</p>	<p>ご意見を参考にします。前回の市長と語る会でも多言語対応の様々な案内が必要とのご意見をいただいた。これから海外からの訪問者も多くなるので、そういう方が立ち寄って聞ける場所を検討していく必要があると思う。</p>
13	<p>先ほどけやき並木通りでフランスフェアを催すことを計画している話を聞いたが、けやき並木通りだけで完結してしまうのではなく、府中市全体で盛り上げるような取り組みが必要だと思う。</p>	<p>外国の方を歓迎するなら、1カ所で歓迎するのではなく、まち全体が面として歓迎する。府中の50の商店街の街路灯にフラッグをつける。そうすると、それに気づく人たちがたくさんいる。自分の国の国旗がどこに行ってもたなびいていたら嬉しいと思う。各商店の人とどう協働できるかというのは考えなくてはいけないと思う。</p>
14	<p>外国から来た人に農業を手伝ってもらい代わりに宿とご飯を提供するというような、お金を介在させずに労働力と宿泊場所を交換するWWOOF(ウーフ)という仕組みがある。この仕組みを市内の農家の人たちに広めて使ってもらえば、宿以外のいたるところに泊まってもらえる可能性が増えると思う。</p>	<p>農業といっても専業と兼業があるので非常にとらえづらいが、農業後継者の若手が今新しい取り組みを行っているの、話してみようと思う。</p>

市長と語る会(H30. 6. 21市民活動センタープラッツ)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
15	<p>市内にある標識や看板、お店のメニューのローマ字表記率は高いのでしょうか。私が海外に旅行に行ったときの経験から、せめてローマ字表記があれば、外国の方は自分で翻訳したり検索して調べることができる。全部ローマ字表記を追加するのは結構コストがかかると思うので、「これ、何て読むの」と日本語で書かれたカードを配布してはどうか。駅や店舗にカードを置いておけば、見せられた人が発音を教えてくれる。発音がわかればローマ字がわかる。</p>	<p>お店のメニュー表記は商工会議所や商店街連合会に引き続き依頼をしていかなければならないが、「これ、何て読むの」カードはいいアイデアだと思う。「これ、何て読むの」以外にもキーワードが日本語で書いてあれば、あとは身振り手振りで何とか意思疎通ができる場合もある。ほとんどの日本人は最初のコミュニケーションができると、勇気がどんどん出てくると思う。</p>
16	<p>先ほど選手の方々と市民との交流があるという話があったが、選手ではなくサポーターとして応援に来てくださっている外国人の方々と市民との接点もあるといいと思う。サッカーの試合で応援した人は、観戦後にサッカーをしたくなると思う。府中市内の高校や大学の部活動やサークル、社会人の団体と親善試合を行ったり、市民の人たちと外国から来た人との交流にもなると思う。</p>	<p>味の素スタジアムの近くの広場にできるファンゾーンのようものをけやき並木にもつくり、地元の物産や地元の文化を披露するなど、交流を行い、試合時間に合わせて移動していただくということもできないことはないと思う。</p>
17	<p>おもてなしをするに当たって考えるのは、どうしたらそもそも来てくれるのかということと、その次に来てくれたときにどういうことができるのかという2点に分けるべきだと思っている。そもそも府中市というのを知らない状態から知っている状態にしないといけない。ユーチューブなどで市の紹介のショートムービーをのせてもいいし、あまり知られていないことを逆手にとって自虐的に知らないまちがここにはあるとPRしてもよいと思う。</p>	

## 市長と語る会(H30. 6. 21市民活動センタープラッツ)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
18	アプリを開いたら府中の地図が出て、観光地やバスの路線図、図書館などが表示されるなど、観光客だけでなく市民のために、府中のことは何でもわかるというような府中のオフィシャルのアプリをつくったらどうか。スマホの保有率も高いので一番効果的な媒体だと思う。	おもしろいアイデアだと思う。 (広報課回答)今年から経済観光課では、外国人の嘱託職員を配置し、SNS開始後、短期間で700人以上のフォロワーが付くなどしている。今年のくらやみ祭もインターネットやSNS上で知ったので来たという方も多いため、提案内容は研究していきたいと考えている。
19	府中市は公園が多いのが一つの特徴だと思うので、市内の公園でパブリックビューイングを行い、競技をそこで見られるようにしたらどうか。	パブリックビューイングを緑が多い公園で、予想外のところでやることによって外国の方との交流が生まれるかもしれない。
20	文化の違いから外国人の対応に困ってしまうこともあると思うが、外国の方が府中にたくさんいらっしゃることで、市民の方もいろいろ不安だったり心配に思うこともあると思う。不信感を払拭するための方策も大切と思う。	府中市がラグビーワールドカップのキャンプ地に決まったことを踏まえて講演会を実施したときに、ラグビーの応援に来た外国人は、多量にお酒を飲み、酔っぱらって暴れるから、そういうことへの対応も考えなければならぬのご意見があった。市民と外国の方がトラブルになってはいけないので、対応を考えなければならぬと思う。
21	外国の方々を迎える側の私たちも府中のことをよく知らないと思う。迎える側として府中のことを聞かれたときに自信を持って伝えられるような取り組みも必要だと思う。	ボランティアなどでは人と人の触れ合いがあるわけだから、外国の方から、府中のまちのことを質問されるかもしれない。そのときに聞かれて「わかりません」と言うのと、聞かれて答えられることでは、その先のコミュニケーションが全然変わってくる。皆で一緒になって学んでいくことも大事なことで感じている。
22	オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ、これをただのお祭りとして考えていくのではなく、ここから先、これをきっかけとして府中市がどういうふう発展していくかというのを考えていく必要がある。	魅力あるまちとなるには人がそれぞれまちづくりに参加して、変化を起こしてまちづくりに参加していくということが、必要だと思う。世界的な大イベントが2年間にわたって開催されるので、変わるチャンスにしたい。